

瀬戸の常識 (°Д°)ハア?

# 加藤民吉ってだれ?

磁祖



仲間がらっほー!!

正直もの!!

3人の男兄弟の次男

1772年生まれ! 江戸時代

深い関係 せともの祭

陶磁器大好き!!

瀬戸の事を 著

I ♥ JIKI

こんな人

民吉の九州ゆかりの地

佐々

市の瀬血山窯跡 (長崎県指定史跡)  
民吉が約2年にわたり修業した窯です。

佐々遠景

残心の杉  
民吉が佐々を離れる時に植えたと言われています。

天草

高浜血山窯跡  
民吉が九州で最初に修業した窯

東向寺  
民吉の九州修業の拠点となった寺

名プロデューサーにスカウトされ、その後陶磁器の世界でトップに  
加藤民吉は窯屋の次男として生まれました。窯屋をつけるのは長男  
だけだったため、名古屋熱田の新田開発で働いていました。その姿を  
見た尾張藩熱田奉行が民吉に磁器づくりの研究を命じます。その後、  
瀬戸の庄屋が瀬戸で磁器づくりをさせてもらうようお願いし、民吉は  
瀬戸に帰って磁器づくりをすることになりました。



磁器を勉強するため、瀬戸から九州まで徒歩と船で1か月かけて行く!  
日本の磁器づくりは九州の肥前(佐賀県)で始まりました。当初、瀬戸  
の磁器はまだ製品としては不十分で、その製法は瀬戸ではわからない  
ことがたくさんありました。民吉は磁器づくりを勉強するため文化元年  
(1804)2月に九州へと旅立ちます。



アウェー(九州)でもどんどん仲間を増やすカリスマ性  
民吉は、窯場を紹介してもらい、そこで仕事をしながら磁器づくりを学びました。修  
業は4年にわたり、瀬戸へ帰った民吉により瀬戸の磁器づくりは飛躍的に進歩しまし  
た。民吉が亡くなったあと、瀬戸の人々は民吉の功績をたたえ、窯神社に「磁祖」とし  
てまつるようになりました。